

図書館通信

市貝町立図書館
〒321-3423 栃木県芳賀郡市貝町市塙147
Tel 0285-68-4380
URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

年賀状もこちら

ホームページはこちら




12月のイベント

イベントの開催については、感染症対策を講じながら安全にできるよう配慮しております。※状況により変更・中止あり

- ★季節の工作イベント ※申込は終了しました
- クリスマスリース工作
日時：12月4日（土）14:00～（1時間半程度）
- お正月リース工作
日時：12月26日（日）14:00～（1時間半程度）
内容：季節のリースを作ります。お申し込みされた方は当日「イベントカード」をお持ちください。（カードの発行・再発行はすぐできます）
対象：小学生（1～3年生は保護者同伴）

- ★復刻缶バッチャガチャ第3弾
期間：12月11日（土）～12月12日（日）
内容：今までの缶バッチャが期間限定でよみがえる企劃の第3弾です。資料を3点以上借りてガチャにチャレンジしてください。

- ★ダンボの会のクリスマスおはなし会
日時：12月19日（日）10:30～（50分程度）
場所：1階 おはなしコーナー
対象：乳幼児～小学校低学年まで
定員：10名程度 ※状況により人数制限あり
内容：ボランティアによる絵本の読み聞かせです。
お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

- ★歴史民俗資料館のイベント
「ミニギャラリー展」
期間：11月27日（土）～12月19日（日）
内容：町の講座やサークルの作品を展示し活動内容を紹介します。次年度参加希望の方はぜひ参考にしてみてください。
お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

ツイッターでも情報配信中！

市貝町立図書館
『いっとくん』
@ittokun_ichikai



twitterで「市貝図書館カルトクイズ」実施中！

★開館時間 9:30～19:00★

感染症対策のためサービスの制限をしています。ホームページやtwitterでも情報を更新しています。引き続き感染症対策にご協力ください。

★いっとくんからの年賀状★

1月4日（火）までに、図書館のいっとくん宛に年賀状を送ってくれた方に、後日いっとくんからオリジナル年賀状が届きます。



宛先は、紙面いちばん上の 内の通りです。皆さんからのおたより、お待ちしております！！



★2022年は1月4日（火）から★

【予告】来年最初の開館日1月4日（火）に資料を借りると、いっとくんから「お年玉風のプレゼント」があります。お楽しみに☆ ※50個限定



図書館カレンダー

12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2022年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21★	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					





★ちょっとだけ
ご紹介★

第9回 いちかい図書館まつり

昨年度延期となった「いちかい図書館まつり」ですが、今年度は規模を縮小し1月22日（土）開催を予定しています。安心・安全に参加できるイベントを計画しています。

★開館30周年記念おたのしみ宝くじ

1月4日（火）～1月16日（日）の期間、資料を借りた方に抽選券（抽選番号付き）を配布します。当選者にプレゼントをさしあげます。

★リサイクル市 ※1月23日（日）まで

図書館で除籍となった図書を希望者に無料で配布します。感染症対策のため整理券を配布し、時間での入れ替え制で実施します。

★ダンボの会のおはなし会

ボランティアによる小さいお子様向けのおはなし会です。※事前申込制

★しょうちゃんと遊びま専科

「牛乳パックでエコクラフト」
当館顧問「しょうちゃん」と一緒に
工作を楽しみます。※事前申込制



★キッチンカー出店

複数のキッチンカーの出店を予定しています。今回は感染症対策のため、屋外テーブル席のご用意はありません。美味しいスイーツやフードは自宅や車内でゆっくりお召し上がりください。

お問い合わせ 市貝図書館 68-4380

おめでとう! 「ぽかぽかあったか〜〜〜い本」

「筆ペンで書くゆる文字

季節のあいさつ

十二支の年賀状と、

気持ちを届けるはがき」

宇田川 一美 // 著

（誠文堂新光社）

年々年を重ねる毎に年賀状を書く枚数が減ってきました。皆さんも便利なLINEですませていませんか？

今年の年賀状は、会えなかった友人やおじいちゃん、おばあちゃん、大切な人に手作りゆる文字で書くのはどうでしょうか！

十二支の年賀状、クリスマス、誕生日、四季折々のはがき集などそのまま真似できる作例を紹介、ゆる文字のコツもわかります。アイデアとヒントが満載です。

書いた人ももらった人もほっこりあったかい気持ちになるでしょう。素敵な一枚を……。



寅

「ぐつぐつ、お鍋」

阿川 佐和子 // ほか著

（河出書房新社）



ぐつぐつ、お鍋の季節がやってきた。鍋にまつわるエッセイのアンソロジー。いろいろな人の鍋に対する思いが、それぞれに伝わって「あ〜今夜は鍋の気分〜」ってなります。寒いのは苦手だけれど、冬がちょっと楽しみになりました。身体もあったか、笑顔で食べる鍋は心までぽかぽかになりますから…。

シンプル鍋からオリジナルこってり鍋まですべてに共感もてます。“鍋奉行”“ひとり鍋”言葉ひとつからでも想像が膨らみます。工夫次第で旨い鍋がいただける醍醐味。

私のぽかぽか鍋は、母の作る湯豆腐でした。刻みねぎとカツオ節たっぷり、大家族だったあの頃、穴あきお玉の取り合いが懐かしく思い出されます。

皆さんも鍋を囲み、あったか気分になって下さい。



しょうちゃんのひとりごと



11月13日夕方、テレビのテロップに藤井聡太19歳3カ月の史上最年少で「棋聖」「王位」「叡王」「竜王」の四冠達成と映し出され「うわーっ凄いことだ！」と驚いた。10代で四冠というのは100年、いや未来永劫破られないとは思っている。藤井四冠は子どもの頃から詰将棋が好きで、素早く説く能力はプロ以上ではと、師匠の杉本八段が語っていました。小学6年生の頃、お母さんは「AIを使うのはどうでしょうか」と相談していたそうで、他の人達からもまだまだ早いのではないかと言われていたそうです。AIは直ぐに正解が分かり途中経過を考える習慣がなくなり、楽をしてはいけな思われていたからです。しかし、これは杞憂でした。藤井四冠は天才型ですが、秒読みもギリギリ迄考える姿勢は変わらず、執念のある将棋を指し、AIと同じ結論を自分の頭の中で考え抜くことができるからです。藤井四冠が小学4年の時に文集に書いた将来の夢が「名人をこす」だったそうです。棋士は将棋を指すことしか世の中にアピールすることができません。将棋は奥深く正解にたどり着くことはないかもしれませんが、閉塞感漂う現代社会の中でその道を探求し、人々の気持ちを安らかにして、勇気をもらえるような活躍を今後、藤井四冠には期待したい。

スタッフのおすすめ

スタッフのおすすめ